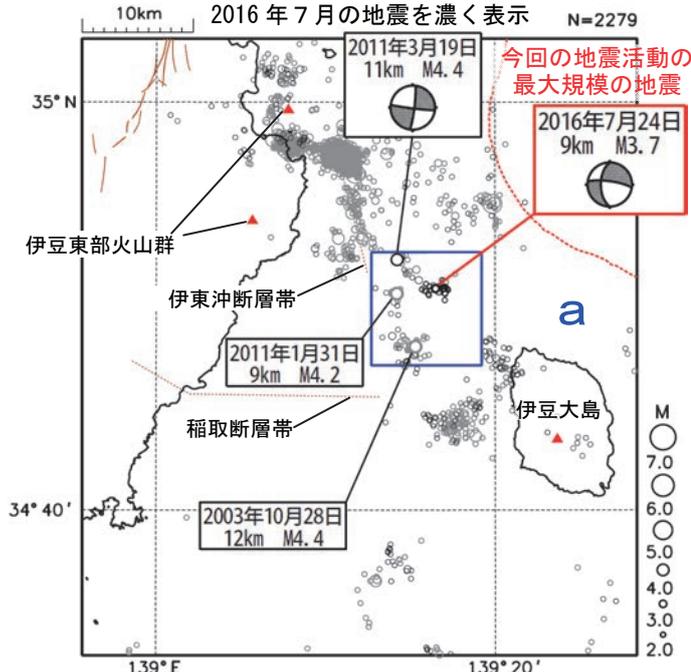


7 月 17 日からの伊豆大島近海の地震活動

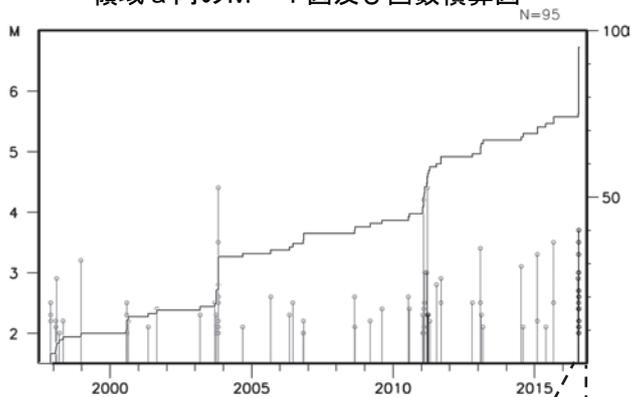
震央分布図（1997 年 10 月 1 日～2016 年 7 月 31 日、
深さ 0～30km、 $M \geq 2.0$ ）
2016 年 7 月の地震を濃く表示 N=2279



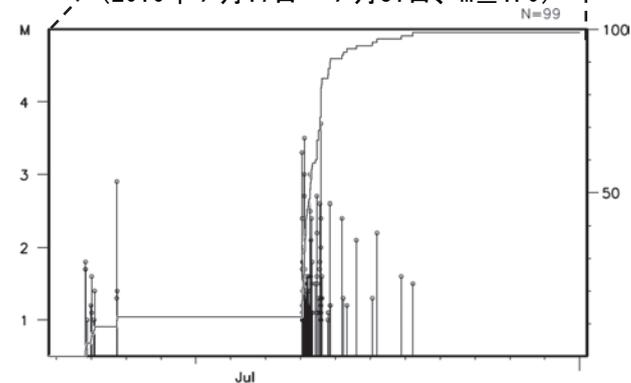
2016 年 7 月 17 日から伊豆大島近海で地震活動がやや活発になり、7 月 24 日 13 時 54 分に最大規模の M3.7 の地震（最大震度 3）が発生するなど、震度 1 以上を観測する地震が 18 回発生した。7 月 26 日以降は震度 1 以上を観測する地震は発生しておらず、地震活動は低下している。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域 a）では、2003 年、2011 年にもやや活発な地震活動がみられている。

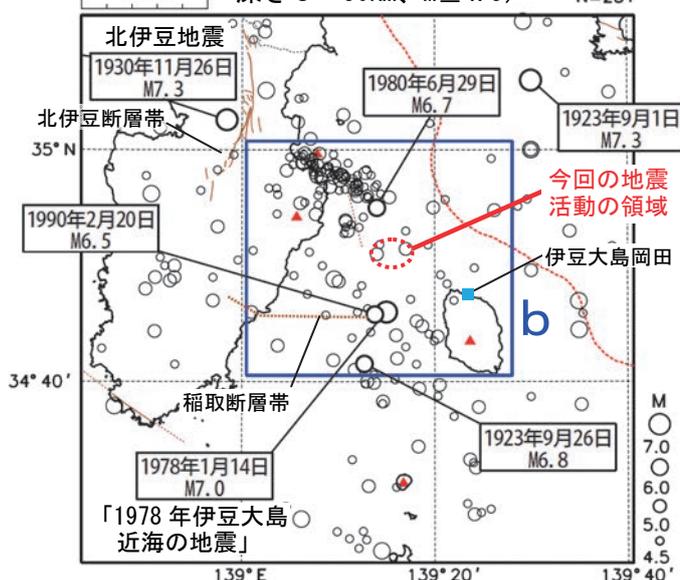
領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



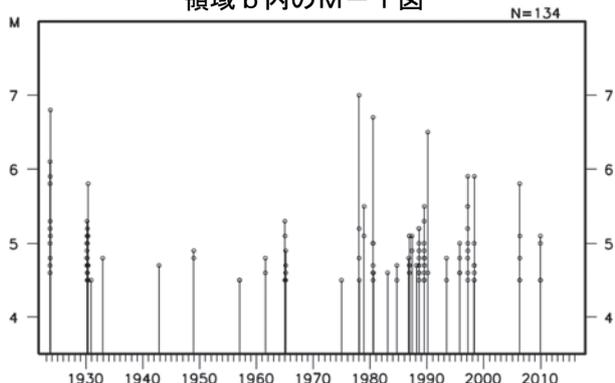
(2016 年 7 月 17 日～7 月 31 日、 $M \geq 1.0$)



震央分布図（1923 年 1 月 1 日～2016 年 7 月 31 日、
深さ 0～50km、 $M \geq 4.5$ ） N=231



領域 b 内の M-T 図



1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、M6.5 以上の地震が 4 回発生している。最大規模の地震は、稲取断層帯の最新の活動である「1978 年伊豆大島近海の地震」の M7.0 で、この地震により、伊豆半島で死者 25 人、負傷者 211 人、住家全壊 96 棟等の被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。また、伊豆大島岡田で 70cm（最大全振幅）等の津波が観測された。